

「しりべしツーリズムサポートの経緯について」

小川原 格 理事

10月1日にしりべしツーリズムサポート有限中間責任法人を立ち上げいたしました。本当にありがとうございました。年度当初から上半期には絶対立ち上げるとお約束致しまして、その日を1日でも延ばしたら会わず顔がないということで、とりわけ8月、9月はそれ1本でしりべしiシステムの正副部長をはじめ、後志支庁さん、小樽開建さん、技術ワークの皆さんで走ってまいりました。お手元にしりべしツーリズムサポートの会社概要というのがありますが、これは登記簿の一部を定款からとりあげたものでありまして今日、皆さんでご覧いただいたJR倶知安駅の横の建物がしりべしツーリズムサポートの事務所ということになります。

多くの方の面接をさせていただきましたが、事務職員の鳴海さんをご紹介します。

ご主人のお仕事の都合で北海道管内の町を移動してしまっていて、つい先ほど今年、倶知安町民になったばかりでこれから後志の勉強をしていただくわけですが、経歴が会計事務所さんに勤務されたことがあるということで、ツーリズムサポートの事務所経理という大変力強いスタッフを配置できたと思っております。

月より金まで事務所に勤めております。まだ土、日の観光の大事な日を事務所で無料でやれる方はいつでも手を上げて頂きたいと思っております。

やっとこれで事務所機能は基本的に整ったとご報告できる。3月の年度末の支庁、講堂で集まっていた最後の運営部会では、まだまだツーリズムサポートの概要といいますが、法的な登記部分をつかまえておらずアバウトなことしかご提案できませんでした。で、木下副部長さん、今の業務執行理事さんに懸命に勉強していただきまして、当初考えていたよりもとんでもない手続きがあることがわかりまして、私の知るかぎり3冊くらい中間法人の登記手続マニュアルを買って、司法書士先生と共に準備されました。組織的概要でいいと思います。社員総会が横にあって理事会が上にあったような図を描いていたと思います。法人組織での会員総会が一番上で事業を執行する理事会が下にある。普通の会社と同じ構造だということで全面的に見直しました。

3月の運営部会では設立のために必要な基金が300万。これを地域の皆さんで是非とも協力して頂きたいとお話し致しましたけれども、これもそういう意味でいったら10月1日立ち上げるには無理があると中間法人とかそういうわけのわからない説明を地域の方に頂くのは大変な作業だなどと、当然きちんと返却のこととか説明していただかなくてはならないし、そういうようなことをまた地域の方に集まってもらって説明をしてまたそれを持ち帰ってもらってということをやっていたらいつまで経っても始まらないということで、執行部というのがあるわけじゃないですが正副部長をはじめ、これは集めれるところで300万を集めきって設立して、スタートして、それから事業の様々な運営に関わる資金等々については地域の皆さんにご協力願おうとこのような形でスタート致しました。

そういうことで、この紙に書いている社員すべてのこのツーリズムサポートの上にある重要な組織を当面、この6人でスタートさせていただきました。

理事になっていますが基本的には6人。真田代表理事は社員に入っておりません。これに今井さんが入って6人で公設いたしました。

これを固定化するつもりはありません。とにかくスタートさせることを最優先にしましたので、これから地域の皆さんに社員になっていただく、理事になっていただく、こういうことを進めていきたいと考えています。まずはスタートする中心人を揃えたということでご理解いただければと思っています。そうすることで10月1日、たまたま先ほどロス・フィンドレーさんのNACに行きましたけれども、木下さんが説明したNPD（ニセコ・倶知安リゾート協議会）これも有限責任中間法人で私たちよりも1歩早く設立されました。同じ司法書士さんでしたので、私たちは中間法人という大変複雑なそれも司法書士さんがあまり慣れない法人だったのですけれどもNPDさんが先にやったおかげでその成果を全部頂いてスムーズに進めることができました。

ま、こういうことでこれから社員総会というのが年に何度かありますが、この社員総会で選ばれた理事会、ここに書いております6人が全ての業務の執行をしていくこととなります。で、iネット昨年3月後志支庁さんが大変ご苦勞をされまして、後志iシステム連絡会議というのを作っていただきました。これがしりべしツーリズムサポートと後志観光連盟と連携する後志事業連絡会議というのが後志観光連盟と地域の皆さんとを結びつける1番の中心の組織ということになります。

これが今までのしりべしiネットでやってきた事業を当然経験してやっていきますし、それにプラス、ツーリズムサポートの方でこの事業を増していくような運営資金を創出するような収益事業をやっていくということでもあります。

真田代表理事は実は北海道副知事さんを退職されまして、札幌では道の北海道都市開発公社という道の不動産を管理する会社ですけれど理事長さんをやっておりまして、今日、3時まで仕事です。とってかえして今はまだ来ておりませんが、今日は下の5名の理事をご紹介します。